

ご使用前に必ずお読みください。

- 誤った取り扱いによって生じる危害や損害を未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも手に取れる場所に保管し、わからないことや不具合が生じたときに再読してください。

ミルクタイム マイコン調乳ポットα

ママの「ほしい」をピップから
PIP BABY

取扱説明書 (保証書付)

必要事項を記入し、大切に保管してください。



もくじ

ご使用の前に	各部のなまえ	1
	安全&便利な機能について	1
	安全上のご注意	2～3
ご使用方法	[1] 水から沸とうさせてつくる場合	4～5
	■ 調乳適温のお湯をつくる	6
	[2] 他の器具で沸とうさせたお湯を使う場合	7
	フォローアップミルクをつくる	7
	■ その他便利な ご使用方法	7
	ほうじ茶をつくる	7
	おかゆをつくる	7～8
	温泉たまごをつくる	9
こんなときは	お手入れ	10
	故障かなと思ったら	10
保証など	仕様	10

各部のなまえ

ふた

ガラス容器

本体

電源コード

電源プラグ

マグネットプラグ

注ぎ口

取手

水量表示目盛

熱板

センサー

操作部

プラグ差し込み口

安全＆便利な機能について

操作部

保温ランプ

沸とうランプ

沸とうボタン

適温お知らせ機能

指定した温度になると
保温ランプ が点灯します。

空だき防止機能

お湯が少なくなったときや、空のガラス容器をのせたときは、自動的に通電をストップし、沸とうランプと保温ランプが同時に点滅してお知らせします。

温度調節ツマミ

フリー温度設定

温度調節ツマミ で約40℃～95℃まで保温温度を設定できるので、温泉たまご、ほうじ茶もおいしくつくれます。また保温中でも温度変更が自由にできます。その他離乳食用のおかゆづくりにも活躍します。

カルキ抜き沸とう

沸とうボタン を押すと、カルキの少ない清潔なお湯をつくれます。

再沸とう機能

保温中に 沸とうボタン を押すと、再び沸とうさせることができます。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

ここには誤った取り扱いによって生じる危害や損害を未然に防ぐための注意事項を記載しています。

※表示と意味は次の通りです。

⚠ 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

※図記号の意味は次の通りです。

してはいけない内容

必ず実行していただく内容

	禁 止		分解禁止		水場での使用禁止		接触禁止		指示を守る
---	-----	---	------	---	----------	---	------	---	-------

⚠ 警告（やけど・けがを防ぐために）

- 子供だけで使用させたり幼児の手の届くところで使用しない
(やけど・けがをする恐れがあります。)



- 誤って子供がプラグをなめないように注意する
(感電やけがをする恐れがあります。)



- 調乳直後のミルクは冷ましてから赤ちゃんに与える

調乳適温

ミルクを溶かすのに
適した温度

約50℃



授乳適温

赤ちゃんが飲むのに
適した温度

約38℃



(調乳直後のミルクは、約50℃になっています。赤ちゃんに与えるには熱すぎるため、授乳適温約38℃まで冷ましてください。すぐに与えるとやけどをする恐れがあります。)

- 不安定な場所や熱に弱い物の上で使用しない

熱に弱い敷物の上
(やけどをする恐れがあります。
また敷物の変形や変色の原因になります。)



テーブルの端
(転倒してやけどをする恐れがあります。)



キャスター付きワゴンの上
(転倒してやけどをする恐れがあります。)



- ガラス容器を本体にのせたまま移動しない
(ガラス容器を落として、やけど・けがをする恐れがあります。)



- 800 ml 以上の水やお湯を入れない
(お湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。)



⚠ 警告 (やけど・けがを防ぐために)

- 湯沸かし中は、水やお湯を注がない
(お湯が飛び散り、やけどをする恐れがあります。)



- 湯沸かし中、湯沸かし直後は手をふれない
(やけどをする恐れがあります。)



- 本体に水やお湯をかけたり、つけたりしない
(ショート・感電の恐れがあります。)



- 熱板が高温になるため手をふれない
(やけどをする恐れがあります。)



(水がかかってしまった場合は、絶対にお使いにならないでください。すぐに電源プラグを抜き当社お客様相談室にご相談ください。)

⚠ 警告 (発火・火災・感電を防ぐために)

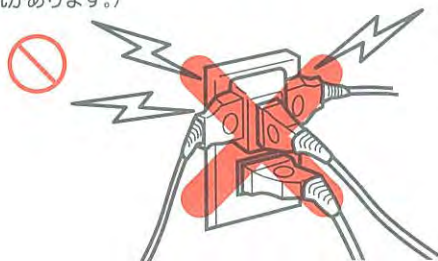
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
(火災の恐れがあります。)



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の恐れがあります。)



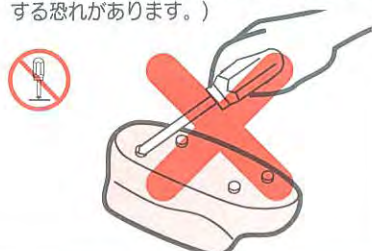
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外の電源は使用しない
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災・感電の恐れがあります。)



- 電源コードを持って抜かない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、ムリにまげたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また重いモノをのせたり、はさみ込んだりしない



- お客様ご自身で分解・修理・改造をしない
(発火したり、異常動作によりけがや感電をする恐れがあります。)



- マグネットプラグにピンやゴミを付着させない
(感電・ショート・発火の恐れがあります。)



- 濡れた手で電源プラグやマグネットプラグを差し込んだり抜いたりしない
(感電の恐れがあります。)



ご使用方法

●準備●

ご使用前にガラス容器を洗ったあと、よくすすぎ、きれいにふいてください。

- 特にガラス容器の底はていねいにふきとってください。
- 取手がぐらついていないか確認してください。

⚠注意

ガラス容器に洗剤を残さない。
(ガラス容器に洗剤が残っていると、突沸現象が発生しお湯が飛び散り、やけどをする恐れがあります。)

■調乳適温のお湯をつくる

【1】水から沸とうさせてつくる場合

1 ガラス容器に水道水を入れる。

- 水道水を入れたらふたをしめる。

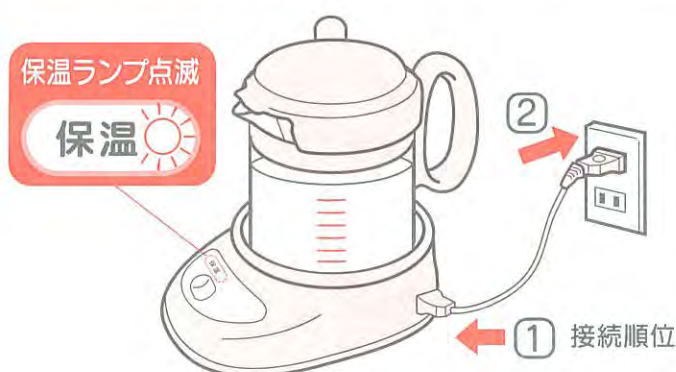


お願い

300ml以下の水量で使用しないでください。空だき防止機能が働き、通電がストップする場合があります。

2 プラグを接続する。

- プラグを①②の順で接続したあと、ガラス容器をのせる。



お知らせ

調乳適温になるまでの経過がランプを見るとわかります。

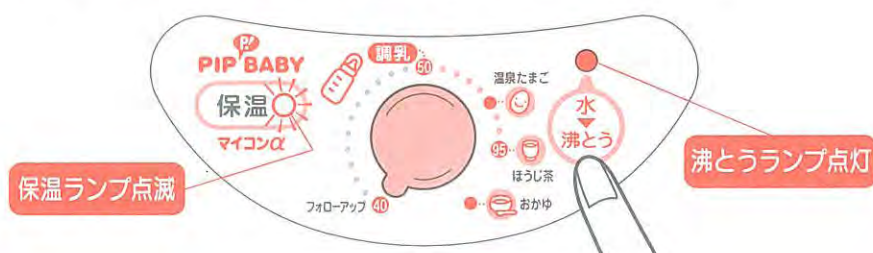


お願い

- ガラス容器をガスコンロや電子レンジで加熱しないでください。
- 当社のガラス容器以外のものは本体にのせないでください。

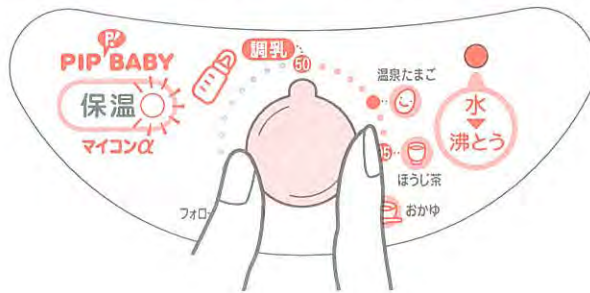
3 沸とうボタンを押す。

- 保温ランプ(緑色)は点滅のまま、沸とうランプ(赤色)が点灯します。



4 温度調節ツマミを「調乳」にあわせる。

- 保温ランプ(緑色)は点滅のまま、沸とうランプ(赤色)は点灯を続け加熱状態を知らせています。



メモ 調乳適温とは

ミルクの栄養分が損なわれることなくスムーズに溶ける温度(約50℃)です。

5 保温ランプ(緑色)が点灯するまで待つ。

- 約2時間15分で調乳適温になります。(室温・水温とも20℃、水量800mlの場合)

沸とうボタンを押す

約35分

カルキ抜き沸とうが終わる

カルキ抜き沸とうが終わると、沸とうランプが消えます。保温ランプは点滅を続けます。

約1時間40分

調乳適温になる

調乳適温になると、緑色の保温ランプが点灯してお知らせします。



6 哺乳びんにお湯を注ぐ。



⚠ 警告

調乳直後のミルクは冷まして赤ちゃんに与える。
(やけどをする恐れがあります。)

お願い

本体への漏水防止のため、熱板の上でお湯を注がないでください。

7 ガラス容器を本体に戻す。



お願い

- 24時間以上使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 24時間以上保温したお湯は使用しないでください。
- 腐敗防止のため、ミルクをガラス容器に入れて保温しないでください。

調乳適温のお湯をつくる

【2】他の器具で沸とうさせたお湯を使う場合

1 ガラス容器に沸とう直後のお湯を入れる。

- お湯を入れたらふたをしめる。



お願い

300mℓ以下の水量で使用しないでください。空だき防止機能が働き、通電がストップする場合があります。

2 プラグを接続する。

- プラグを①②の順で接続したあと、ガラス容器をのせる。



お願い

- ガラス容器をガスコンロや電子レンジで加熱しないでください。
- 当社のガラス容器以外のものは本体にのせないでください。

3 温度調節ツマミを「調乳」にあわせる。

- 保温ランプ(緑色)は点滅し、沸とうランプ(赤色)は消灯しています。



お願い

沸とうボタンは押さないでください。(押すと、沸とうモードになります。)



誤って沸とうボタンを押してしまった時は…

沸とうランプ(赤色)が消えるまでボタンを押し続けると解除できます。

4 保温ランプ(緑色)が点灯するまで待つ。

- 約1時間40分で調乳適温になります。

調乳適温になると、
緑色の保温ランプが点滅から点灯に変わ
りお知らせします。
(沸とうランプは消灯のままです。)



5

ご使用方法5ページ

⑥～⑦と同じ手順で調乳してください。

フォローアップミルクをつくる

- 1 ご使用方法4ページ → ①～③と同じ手順で操作してください。 **お願い** 必ず沸とうボタンを押してください。

- 2 温度調節ツマミを「フォローアップ」の位置に合わせる。

- 3 保温ランプ(緑色)が点灯するまで待つ。



メモ 9ヶ月以上の赤ちゃんに飲ませるフォローアップミルクは溶けやすく調乳後そのまま授乳できて、便利です。

- お願い**
- フォローアップミルク以外の粉ミルクは、必ず調乳モードにセットし授乳適温まで冷ましてからお使いください。
 - お湯はつぎたさないでください。
 - 24時間以上保温したお湯は使用しないでください。

ほうじ茶をつくる

- 1 ご使用方法4ページ → ①～③と同じ手順で操作してください。

- 2 温度調節ツマミを「ほうじ茶」の位置に合わせる。

- 3 保温ランプ(緑色)が点灯するまで待つ。



メモ 熱湯をつくることができますので、ほうじ茶のほか、コーヒー・紅茶を入れるのにもお使いください。

おかゆをつくる

メモ 調理中、そばについていなくても、こげずにおいしいおかゆが自動的につくれます。

1.ごはんからつくる場合

- 1 ご家庭のはかり等を使い、100gのごはんをはかる。
- 2 はかったごはんをガラス容器に入れ、分量表1を参考に、水加減をする。

【分量表1】

月 齢 目 安	ごはんの量	水 量	できあがり量
離乳初期(5ヶ月頃)	100g	500ml	子供茶碗に約4杯
離乳中期(6～8ヶ月頃)	100g	400ml	子供茶碗に約3杯
離乳後期(9ヶ月頃)	100g	300ml	子供茶碗に約2杯

お願い

ふきこぼれ防止のため、800ml以上での調理はしないでください。

- 3 ふたを付ける。**
●注水部が開口するようにセットしてください。



⚠ 注意

イラストを参考に、**必ず注水部が開口するように**に取り付ける。
(完全にはめると、ふきこぼれてやけどをする恐れがあります。)

- 4 セットする。**
●ガラス容器を本体にセットして温度調整つまみを「おかゆ」にあわせ、保温ランプ(緑色)が消灯するのを確認してください。

⚠ 注意

乳幼児の手の届く所や不安定な場所で使用しない。
(やけどをする恐れがあります。)

- 5 沸とうボタンを押す。**
●保温ランプ(緑色)が点滅し、沸とうランプ(赤色)が点灯します。



⚠ 注意

調理中、ふたは高温になるため、直接手をふれない。
(やけどをする恐れがあります。)

- 6 できあがり。**
●沸とうランプ(赤色)が点灯から消灯に変わり、加熱が終了すると召し上がれます。
※保温ランプ(緑色)は点滅しています。



メモ でき具合はごはんの種類や室温により多少変わります。

お願い

おかゆは、時間がたつとのり状になります。できるだけ早くお召し上がりください。

2. お米からつくる場合

- 1 ごはんからつくる場合の①～⑤と同じ手順で操作してください。**
お米の量と水加減は分量表2を参考にしてください。

【分量表2】

月 齢 目 安	お米の量	水 量	できあがり量
離乳初期(5ヶ月頃)	30g	300ml	子供茶碗に約1杯
離乳中期(6～8ヶ月頃)	45g	350ml	子供茶碗に約2杯
離乳後期(9ヶ月頃)	60g	400ml	子供茶碗に約3杯

- 2 沸とう加熱終了。**
●沸とうランプ(赤色)が点灯から消灯に変わります。



メモ ごはんから調理する場合と異なり、保温ランプが点灯するまでお待ちください。

- 3 できあがり。**
●保温ランプ(緑色)が点滅から点灯に変わり、できあがりを知らせませす。



お米をじっくりおいしく調理する為に
蒸らし調理を行っています。

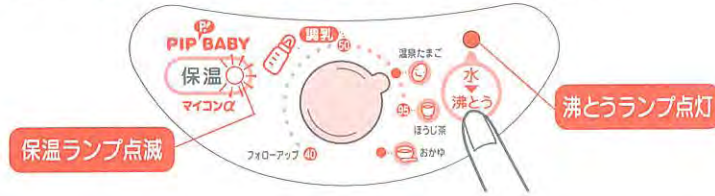
メモ でき具合はお米の種類や室温により多少変わります。

お願い

おかゆは、時間がたつとのり状になります。できるだけ早くお召し上がりください。

温泉たまごをつくる

- ① ガラス容器に600mlの水またはお湯を入れる。
- ② 沸とうボタンを押し、温度調節ツマミを「温泉たまご」にあわせる。
●保温ランプ(緑色)が点滅し、沸とうランプ(赤色)が点灯します。



⚠ 注意

乳幼児の手の届く所や不安定な場所で使用しない。
(やけどをする恐れがあります。)

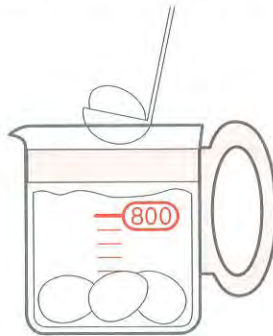
- ③ 保温ランプ(緑色)が点灯するまで待つ。
●約20分で沸とうランプ(赤色)が消灯し、その後約40分で保温ランプ(緑色)が点灯に変わります。



⚠ 注意

調理中、ふたは高温になるため、直接手をふれない。
(やけどをする恐れがあります。)

- ④ ガラス容器にたまごを入れ、ふたをセットする。



お願い

- たまごのサイズにかかわらず、4個より多くのたまごを調理しないでください。
- おたま等でたまごが割れないように静かに沈めてください。

メモ たまごを入れると、水温が一時的に下がり、保温ランプが点滅に変わることがありますが、しばらくすると再び点灯に変わります。

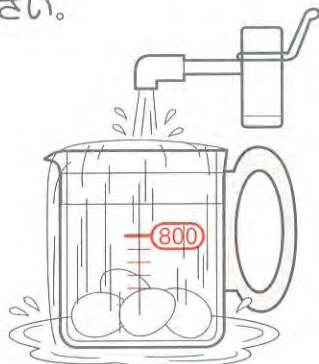
- ⑤ できあがりを待つ。
ご家庭のクッキングタイマー等で、できあがり時間を確認してください。

調理个数	1～2個の場合	3～4個の場合
時間の目安	約40分	約60分

メモ 調理時間は、市販サイズLのたまごを使い、室温20℃で調理した場合の目安です。

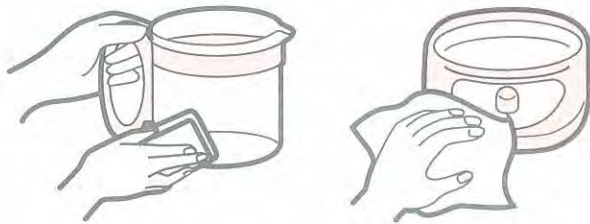
メモ たまごの種類や大きさ、保存状態等によりでき具合が多少異なります。

- ⑥ できあがり後、ふたをはずし、水道水を入れて冷ました後、取り出してください。



メモ よく冷やしてお召し上がりください。

お手入れ



⚠ 警告

本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショートの恐れがあります。)
(水がかかってしまった場合は、絶対にお使いにならないでください。
すぐに電源プラグを抜き 当社お客様相談室にご相談ください。)

お願い

電源を切り、残り湯を捨てて、本体の熱が
さめてからお手入れしてください。
シンナー類、金属たわし、みがき粉などは
使用しないでください。

仕様

容 量	約800ml	外 形 寸 法 (ハンドルをはずした状態)	幅17cm×奥行22cm×高さ24cm
電 源	AC100V 50Hz/60Hz	重 量	約1.2Kg
消 費 電 力	350W	コードの長さ	約1.4m

故障かなと思ったら



警告

お客様自身で改造・分解・修理をしない。
(発火・感電・けがをする恐れがあります。)



- お問い合わせいただく前に、もう一度この取扱説明書をよく読みの上、下記の点を調べてください。
- お調べていただいても不具合があるときは、必ず電源プラグをぬいてから、当社お客様相談室にお問い合わせください。

こんな時は…	原 因	処 置
沸とうランプと保温ランプが同時に点滅する	お湯が入っていない。(空だきモード作動)	電源プラグを抜き、ガラス容器を本体から外し冷めてから水またはお湯を入れてご使用ください。
	お湯が300ml以下になっている。(給水モード作動)	ガラス容器を外し、水またはお湯を給水してください。
	-5℃以下の所で保管していた。(回路保護モード作動)	ガラス容器を外し、室温20℃以上の所で約1時間放置した後お使いください。
沸とうランプも保温ランプも点灯しない	電源プラグまたは、マグネットプラグが外れている。	正しく接続してお使いください。
	ガラス容器がセットされていない。	ガラス容器を本体にセットしてお使いください。
	おかゆモードに温度調整ツマミがあわされている。	沸とうボタンを押す、または温度調整ツマミをおかゆモード以外にあわせてお使いください。
お湯が沸とうしない	電源プラグまたは、マグネットプラグが外れている。	正しく接続してお使いください。
	熱板が汚れている、またはガラス容器と熱板の間に異物が付着している。	ガラス容器を外し、冷めてから熱板とガラス容器の底をきれいにしてください。
	沸とうボタンを押していない。	沸とうボタンを押してください。
お湯がふきこぼれる	800ml以上の水を入れて使用した。	すぐに電源プラグを抜き、お湯が冷めてからガラス容器を外し、水量を800mlにしてお使いください。
	おかゆ調理時にふたをしっかりと閉めた。	ガラス容器を外し、おかゆ調理用のふたのセット方法にしてお使いください。P8参照
お湯の中にキラキラ光るものが浮かんでいる	フレークス現象がおこっています。	下記説明参照



メモ フレークス現象について

お湯の中にキラキラ光るものや先のとがった透明なものが浮かんでいてもガラスの破片ではありません。

水に含まれるミネラル成分(鉄・カルシウム等)が熱によって化合し、ガラス容器の内側に薄い膜をつくります。これがはがれて浮遊したものがフレークス現象です。ガラス容器なのでよく目立ちますが、給水ポット等でも発生する現象です。また、比較的にミネラル分の高い水やアルカリ性の強い水によく起こりますが、水の成分ですので人体には無害です。

フレークス現象が発生した場合は

1. 100mlの食酢をガラス容器に入れる。
 2. ガラス容器いっぱいの水を入れる。
 3. 約60分間置く。
 4. やわらかいスポンジでよく洗う。
 5. ぬるま湯または水でよくすすぐ。
- ※ガラス容器は必ず本体から外してお手入れしてください。